
第2次小城市総合計画

9年計画

基本構想

市の概況

1 位置と地勢

本市は、佐賀県のほぼ中央に位置し、北と東は佐賀市、西は多久市及び江北町、南は白石町と接しており、佐賀市の中心部まで約10km、福岡市へ約70kmの距離にあります。

地勢を見ると、北部には天山山系の山々が連なり、中央部には広大で肥沃な佐賀平野が開けています。南部には農業用排水路のクリーク地帯が縦横に広がり、日本一の干潟を有する有明海に面しています。天山山系に源を發し流れ下る祇園川、晴気川、牛津川は肥沃な佐賀平野を潤し、嘉瀬川及び六角川に合流して有明海へと注いでいます。

気候は、夏は高温多湿でやや蒸し暑く、冬は乾燥した北西の季節風が強いのが特徴です。総面積は、95.81km²で、佐賀県20市町のうち10番目の大きさです。

2 人口と世帯

本市の総人口は、平成27年10月1日現在の住民基本台帳によると、45,881人になっています。平成17年までは増加が続いていましたが、平成17年をピークに減少に転じています。平成27年までの10年間で1,317人の減少となっています。世帯数は、15,818世帯で、人口と違ってこの10年間もずっと増加が続いており、1,438世帯の増加となっていますが、一世帯あたりの人数は、2.90人で減少し続けています。

年齢階層別の人口と構成比率をみると、14歳以下の年少人口は 6,664人で14.5%、15～64歳の生産年齢人口は 27,534人で60.0%、65歳以上の老年人口は 11,683人で25.5%となっています。

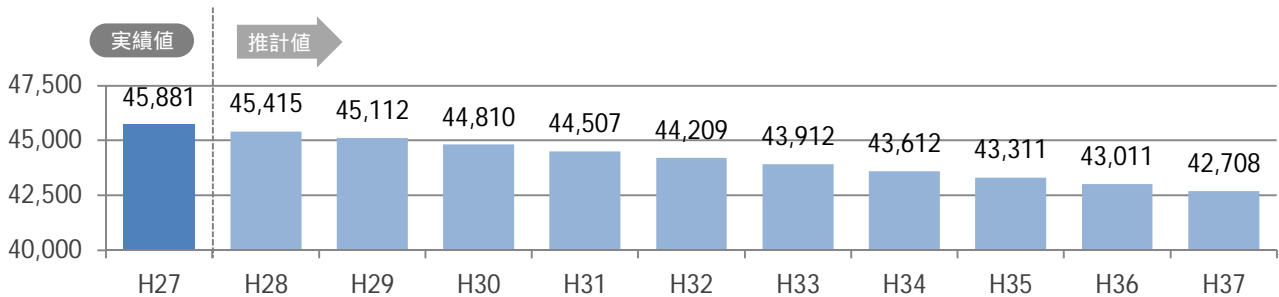
ここ10年間で、年少人口は 1,043人の減少、老年人口は 1,967人の増加となっており、少子高齢化が進んでいます。



将来の人口

1 総人口

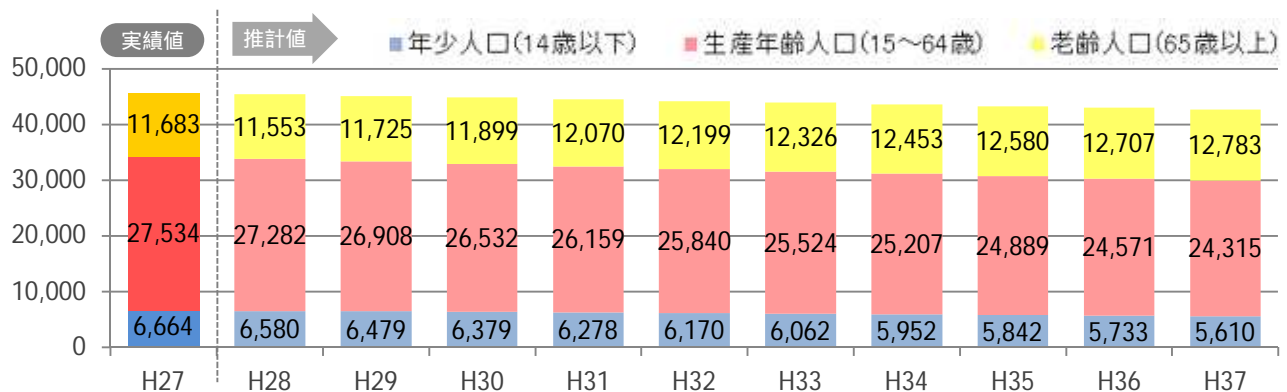
本市の人口は、平成27年10月1日現在の住民基本台帳では45,881人となっています。人口推移について、コーホート要因法により推計を行った結果によると、本市全体の総人口は長期的に緩やかな減少が続き、目標年度である平成37年度には42,708人になると予測されます。



コーホート要因法とは、コーホート（ある年齢のかたまり）ごとに、すでに生存している人口については将来生命表を用いて年々加齢していく人口を求めると同時に、新たに生まれる人口については、将来の出生率を用いて将来の出生数を計算してその生存数を求める方法です。

2 年齢別人口

年少人口（14歳以下）及び生産年齢人口（15～64歳）は緩やかな減少が続くと予測されます。一方、高齢人口（65歳以上）は増加傾向で推移し、平成31年度には12,070人に達すると予測されます。構成比でみると、高齢人口の増加と総人口の減少に伴い、高齢人口の割合（高齢化率）は上昇傾向で推移すると予測され、平成37年度には現在の4人に1人（25.5%）からおよそ3人に1人（29.9%）になると予測されます。



高齢化率

25.5%

28.1%

29.9%

生産年齢人口率

60.0%

58.1%

56.9%

小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～人口減少に歯止めをかけるために～

小城市は、これから人口減少が進むことが予測されており、経済活動や集落機能の低下など地域の活力が失われていくことが懸念されています。こうした中、地方のまちの魅力を向上させ、若者の希望に沿った生活ができる環境を整え、地方から活力を取り戻すための取り組みを戦略的に実施する「まち・ひと・しごと創生法」が、平成26年11月に施行されました。

国の示す「まち・ひと・しごと総合戦略」の基本的な考え方や方向性を踏襲しつつ、「小城市における人口の将来推計（小城市人口ビジョン）」に示す人口の将来見通しの実現に向けて、地域の実情に応じた人口減少・少子高齢化を克服するための今後5か年の目標や解決策の基本的方向をまとめた「小城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年12月に策定し、着実に取り組んでいます。

総合戦略の基本目標

I 「しごとができる小城市づくり」
～安心して働けるようにする～

II 「ひとを呼ぶ小城市づくり」
～新しい人の流れをつくる～

III 「“子は宝”を育む小城市づくり」
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

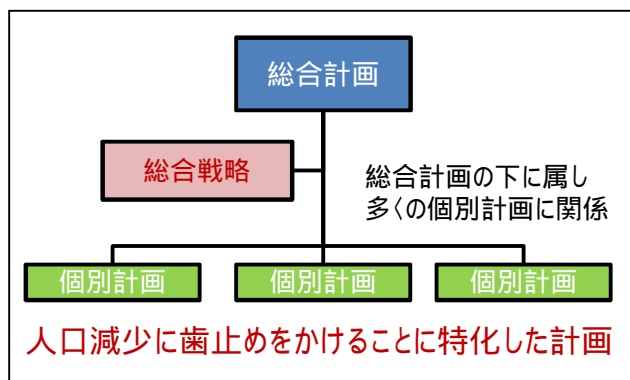
IV 「地域資源を磨く小城市づくり」
～時代に合った地域をつくり
安心な暮らしを守る～

総合計画・総合戦略の計画期間

計画名	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
第1次総合計画	[Progress bar from H27 to H30]											
第2次総合計画	基本構想	[Progress bar from H27 to H37]										
	基本計画	策定	前期計画					後期計画				
小城市総合戦略	[Progress bar from H27 to H30]											
	人口ビジョン	[Progress bar from H27 to H37]										

総合戦略は、毎年度ごとに見直しや検証を行います。

「総合戦略」の位置付け



地方創生総合戦略有識者会議の様子



市の特性・資源

特性 1

県央に位置し、多方面への交通利便性が高く交通立地条件に恵まれています。

本市は、佐賀県のほぼ中央、“県央”に位置するとともに、県都佐賀市に隣接し、佐賀市の中心部まで約10km、車で約20分の距離という、恵まれた立地条件にあります。

高速交通網として、長崎自動車道が市の北部を横断し、隣接する佐賀市及び多久市にインターチェンジが設置されているほか、小城パーキングエリアにETC設置車両専用のスマートインターチェンジの設置を計画し、事業を進めています。

幹線道路として国道4路線と県道10路線が縦横に走り、佐賀市方面はもとより、唐津市方面や長崎市方面など、多方面への交通アクセスに恵まれています。地域高規格道路として、佐賀唐津道路の整備が計画され、有明海沿岸道路の整備も順調に進捗しています。公共交通機関として、JR唐津線及びJR長崎本線が走り、小城駅、牛津駅、久保田駅が利用でき、佐賀市とは10～15分程度で結ばれています。



特性 2

天山から有明海まで優れた自然環境・景観を誇ります。

本市は、南北に長い市域を持つまちで、北部一帯には天山山系の緑あふれる山々が連なっています。

これらを源とする祇園川、晴気川などの清流が流れるとともに、中央部から南部にかけて開けた広大で肥沃な佐賀平野には美しくのどかな田園風景が広がり、最南端は日本の干潟を有する有明海に面し、優れた自然環境・景観を誇ります。

特に、天山一帯は県立公園に指定され、ホタル舞う清流や美しい滝に代表される自然が残されているほか、有明海に面する海岸線は世界で唯一のムツゴロウ・シオマネキ保護区に指定され、貴重な生態系が息づいています。

これらの自然は、多くの人々に憩いと安らぎ、そして様々な恵みをもたらすかけがえのない財産となっています。



特性 3

歴史的建造物をはじめ、有形・無形の貴重な文化遺産が息づいています。

本市は、鎌倉・室町時代には千葉氏、江戸時代には小城鍋島藩の城下町であった小城地区、弥生時代には土生遺跡を中心に朝鮮半島との交流が盛んに行われ、江戸時代には小城藩の米どころであった三日月地区、江戸時代から長崎街道の宿場町として、また牛津川の港町として栄え、“西の浪花”と呼ばれた牛津地区、鎌倉時代の終わりから干拓が始まり、戦国時代には徳島氏、鴨打氏などの武将が活躍し、農漁業のまちであった芦刈地区から形成され、それぞれの地区に古くからの貴重な歴史・文化が息づいています。また、数多くの有形・無形の文化財や神社仏閣、歴史的建造物などの文化遺産があり、本市はロマン溢れる歴史・文化のまちといえます。



特性 4

羊羹や清酒、米、鯉料理、海苔をはじめ、多様な特産品があります。

本市は、恵まれた自然環境のもと、古くから第1次産業を中心に発展してきたまちであり、農林水産物の特産品をはじめ、これらを生かした加工特産品が数多く開発されています。小城羊羹を筆頭に、清酒、米、鯉料理、海苔等々、多様な特産品を誇り、小城市の食材を使ったご当地グルメ「マジェンバ」もあります。



特性 5

情緒豊かな人が住み、生涯学習・文化・スポーツ活動をはじめ市民活動が活発です。

本市は、優れた自然や貴重な歴史・文化につつまれ、古くから育まれてきた市民の情緒の豊かさや文化意識の高さ、人情味の豊かさ、そしてこれらを背景にした生涯学習・文化・スポーツ活動、ボランティア団体・まちづくり団体などの志縁団体による市民活動が活発に行われています。

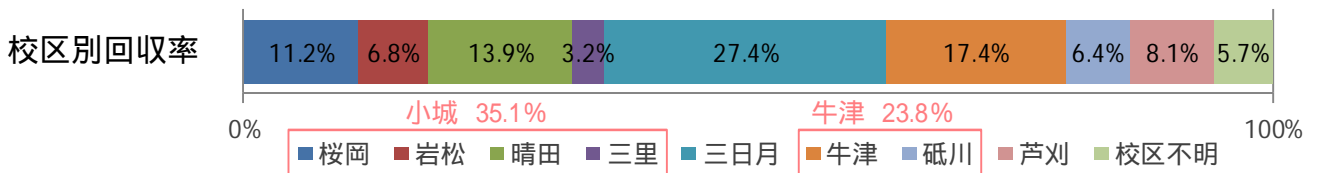
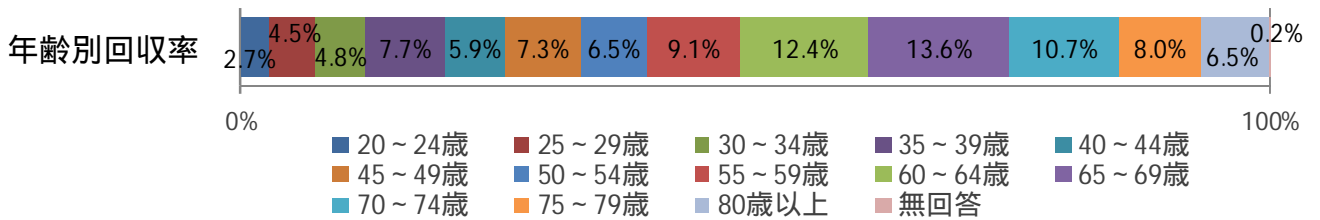
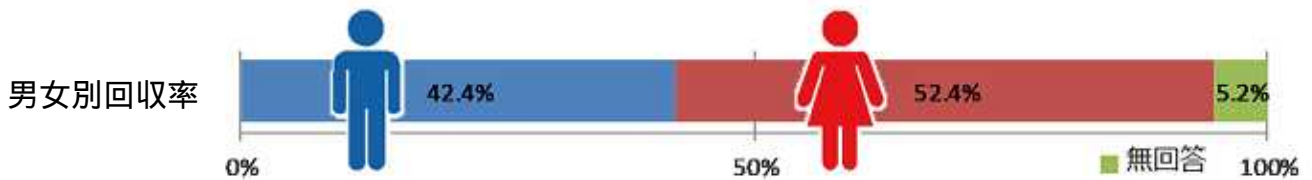
市民ニーズの動向

1 市民アンケート調査

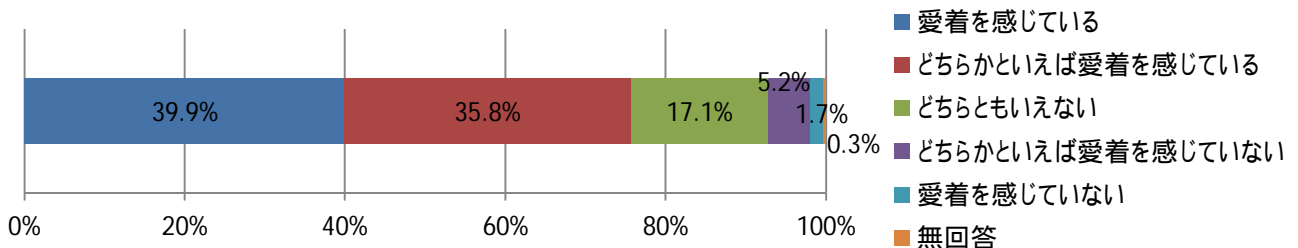
本市の基本的な方向性を示す長期的計画である「第2次総合計画」の策定にあたって、市民の市政に対する意見や要望等を把握し、今後のまちづくりの施策等に反映させることを目的として市民アンケート調査を実施しました。

【調査地域】小城市全域 【調査対象】本市に居住する20歳以上の男女
 【調査方法】郵送配布・郵送回収 【対象者抽出方法】住民基本台帳による無作為抽出
 【調査期間】平成26年7月～8月

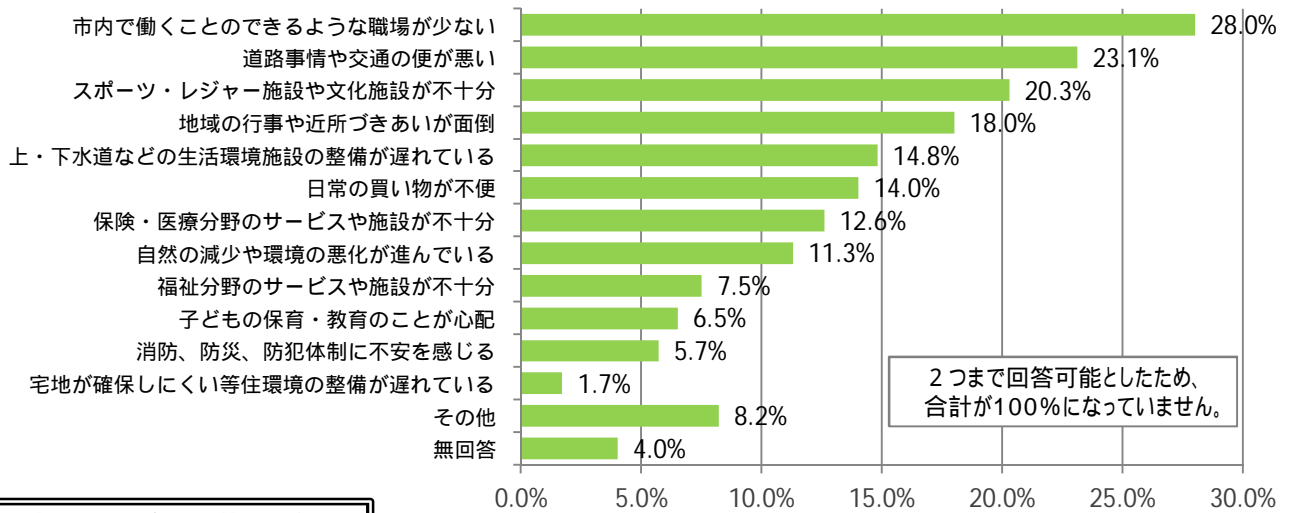
【回収結果】	配布数	有効回収数	有効回収率
	2,000件	601件	30.1%



小城市への愛着度



日常生活で暮らしにくいと感じるところ



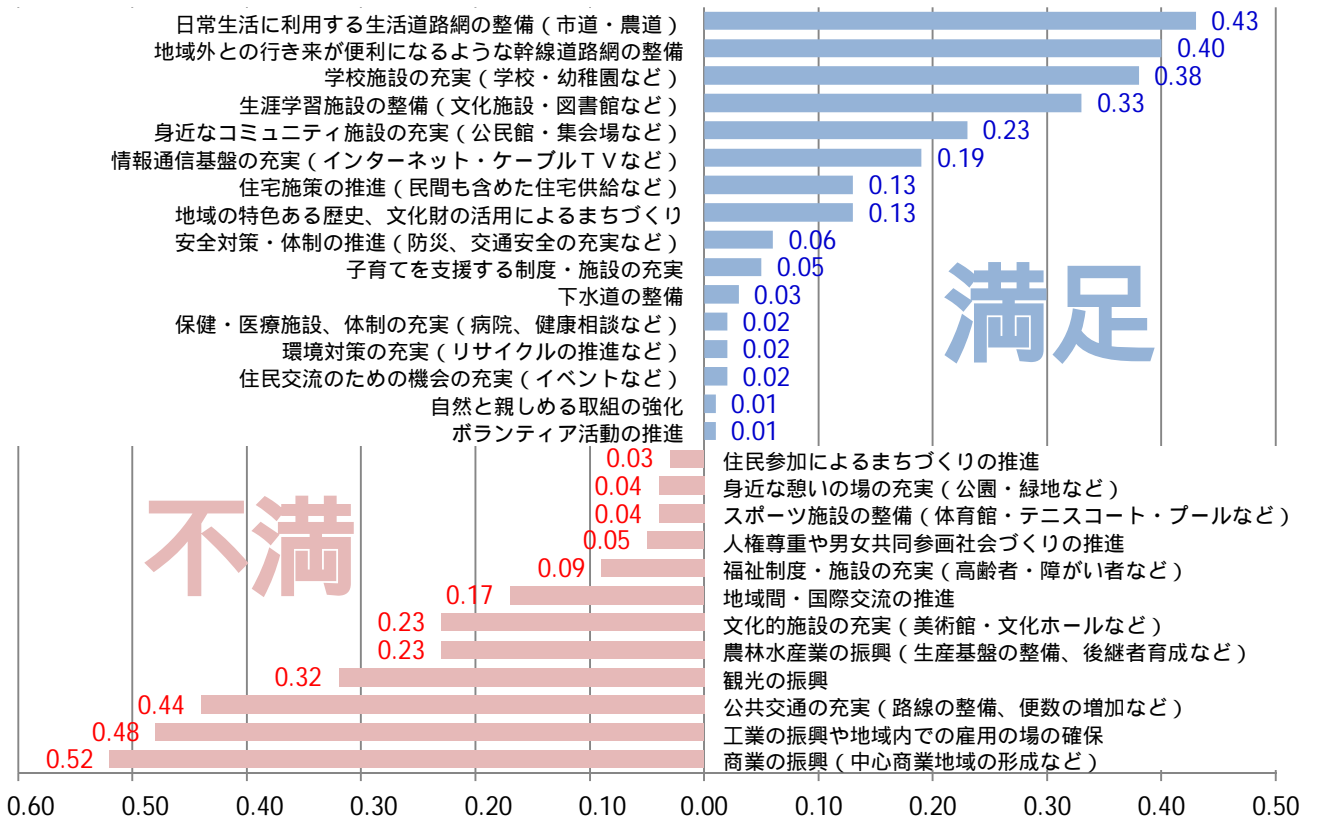
生活環境の満足度

本市の生活環境について、28の項目を掲げ、それぞれの「満足度」を5段階評価で尋ね、加重平均値による分析を行いました。

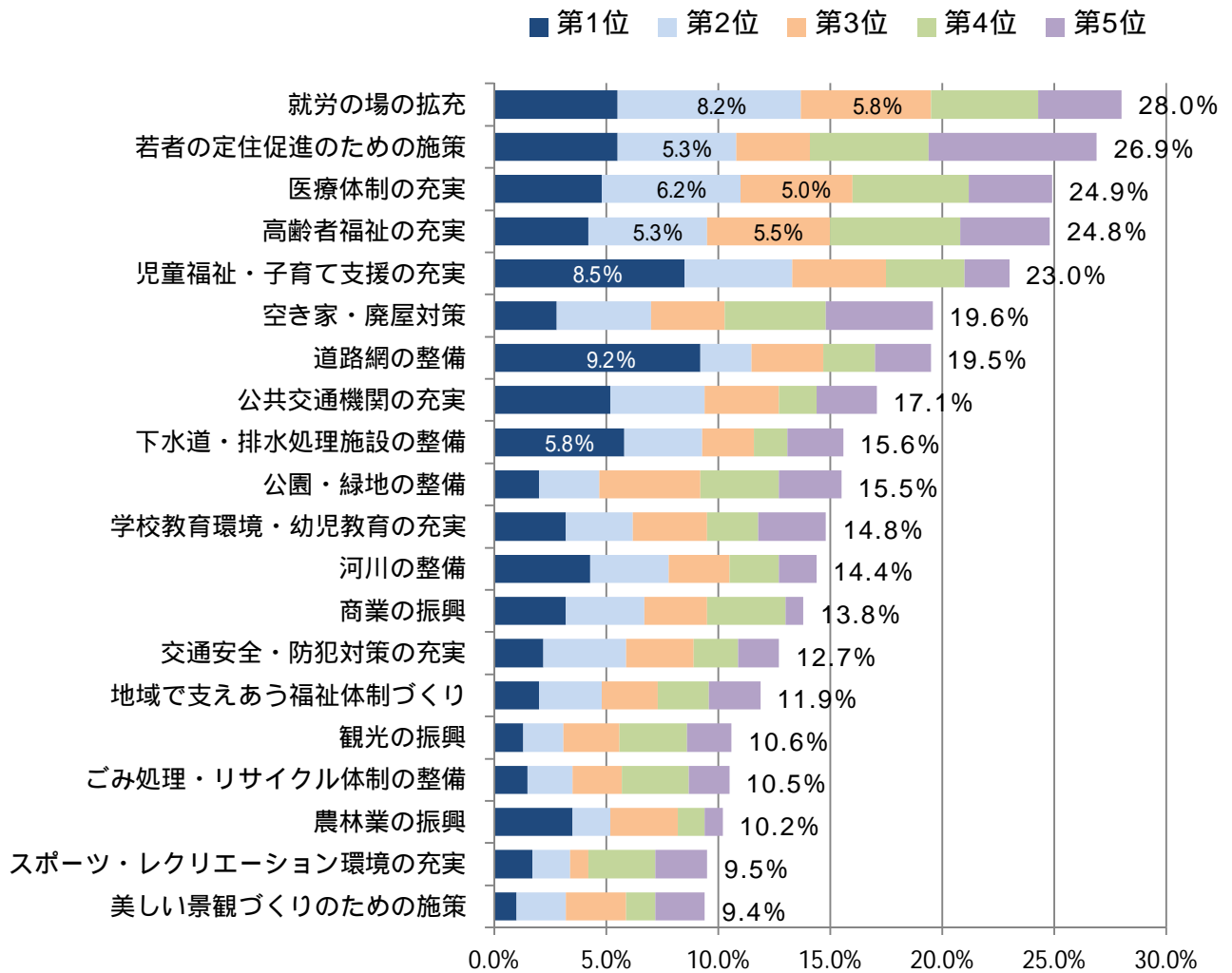
満足度の加重平均値による分析

「満足度」については、「満足」「どちらかといえば満足」「どちらかといえば不満」「不満」「どちらともいえない」という選択肢があります。満足度をよりの確に分析するために、加重平均値による指標化を行いました。

加重平均値は、「満足」に2点、「どちらかといえば満足」に1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば不満」に-1点、「不満」に-2点の係数を設定し、算出しています。

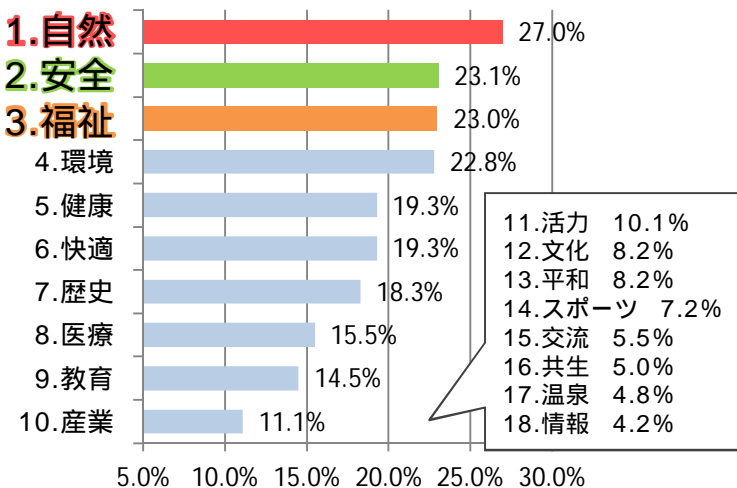


これからのまちづくりで力を入れるべきこと

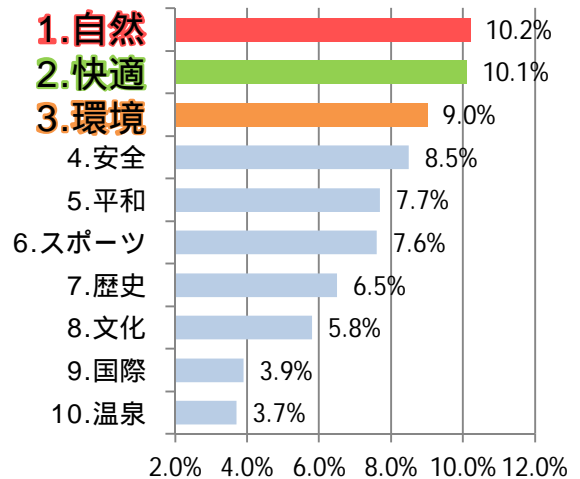


将来都市像キーワード

【市民アンケート】



【中学生アンケート】



2 まちづくり市民会議

広く市民各層から、地域における課題やまちづくりに対する意見・提言など生の声を聴くことで市民のニーズを把握し、市民の意見や願いをしっかりと汲み上げた計画にするため、まちづくり市民会議を実施しました。（2年間で全8回）

現状把握（問題抽出）	取り組むべきこと・事業のたね（アイデア）
------------	----------------------

住環境

・自然が多く住みやすいので地価が安定し、移住者が多いが、虫が多く困っている・田んぼがあり、煙が迷惑・店が多いので便利だが、娯楽施設が多いので、防犯等が心配

・バランスのよい土地利用（規制緩和）・まちなか交流プラザを市民に周知、有効活用する・奨励金の拡大・空き家の有効活用・下水道普及率100%・リサイクル率 1（燃えるごみゼロ）・ライブエリア（中心街の若者エリア）・古民家風ゲストハウス・空き家利活用補助・空き家定住促進補助・空き家の情報提供・マナー、モラル講習・モデル地域創設、モデル団体設立・4Rリーダーの養成・表彰制度の導入・新技術開発援助事業・移住祝い金制度

交通

・巡回バスはあるが、公共交通の本数が少なく、車のない人たちは不便・アクセスが良く、市外へ行くには便利だが、市内を縦断する道路の整備が不十分

・縦断する道路の整備（跨線橋の整備、案内板の改善）・芦刈からのアクセス（芦刈から小城までの道路整備）・巡回バス（ニーズ調査、路線の見直し、予約制度、自由乗降等の検討）・歩道整備・道路パトロールと補修・交通安全教室・交通安全マナー教室・交通安全指導員による巡回指導・ドライブレコーダー設置補助



自然・歴史・文化

・自然が豊かで山から海まであるが、活かしきれていない・歴史のあるところが多いが、伝統を継承できる人が少なく、PRができていない

・自然環境の保全（水質維持、子どもの体験学習）・景観の保全・PRの強化（市内外への情報発信）・歴史学習、文化の振興（小中学校での歴史教育、コーディネーターの育成）・観光とのタイアップ・歴史の現地説明会・伝統芸能発表会



H27 第8回 まちづくり市民会議参加者

小城市まちづくり市民会議

現状把握（問題抽出）	取り組むべきこと・事業のたね（アイデア）
<h3>健康・スポーツ</h3> <p>・スポーツへの関心は高いが、屋外の無料施設が充実していない・医療施設や健診は充実しているが、市民の健康に対する関心は低い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合スポーツ施設整備・福祉センターの活用向上・農業による健康増進事業（貸し農園、畑づくりの指導）・安全に歩ける環境整備（ウォーキング道の整備） ・スポーツによる健康増進・スポーツ公園・家族風呂・六角川クルーズ ・健康教育・夜間病院の誘致・受診特典・健康カード交付事業・サークル活性化事業・サークル紹介事業 
<h3>高齢者・福祉</h3> <p>・4町とも福祉センターがあり、介護施設は充実しているが、障害者施設は少なく、特色がない・高齢者に優しいサービスが充実しているが、PRが足りず、一人暮らしへのサポートも足りない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、老人会を中心とした地域連携（ネットワークづくり）・窓口、補助金の一本化（ワンストップセンター）・障がい者の環境の充実・障がい児の早期発見早期フォロー、家族への支援・老人クラブ指導者の研究集会・コミュニティソーシャルワーカー事業・老人クラブ同好会育成補助・移手段の拡充
<h3>子育て・教育</h3> <p>・放課後児童クラブや児童センターが整備されているが、子どもの遊ぶ場所が少ない・ICT教育が進んでいるが、通学路に歩道がなく、小児科、夜間救急医療が少ない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の掘り起し（教育水準の向上、24時間相談窓口、地域コーディネーター）・場所のしびりをなくす（子どもの居場所確保）・情報提供・ファンドレイズによる子育て支援・子育て拠点の連携強化・放課後児童クラブの拡充・給食無料化・スクールバス・大人教育事業・経済的な支援・学校の指導力向上・ビデオ授業・親カフェ・男親だけの懇親会・地域の歴史文化学習・子ども体験事業 ・子どもたちへの情報発信・プレイパーク整備・高齢者、障がい者との交流事業・地域コーディネーターの育成事業 
<h3>産業・雇用</h3> <p>・産業は多いが企業が少いため、市外へ通勤する人が多い・一次産業は充実しているが、企業が少なく、誘致できていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化（ニーズに合った商品開発、マーケティング）・企業誘致（トップセールス、働く場、空間づくり）・オグジナル商品開発・農業体験塾・貸し農園・品質向上（特産品）・農家レストラン・価格安定基金制度・道の駅整備事業・小城産消費推進助成・農業機械リース事業・新規就農者所得補償事業・世界遺産・観光農園・物産館 
<h3>地域活性化</h3> <p>・運動会など4町それぞれの地域行事には人が集まるが、各町バラバラで一体感がなく、対外的な話題性がない・話題性のあるイベントがあれば、スマートICで観光客を呼び込み、商店街の活性化につなげることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流のきっかけづくり・コミュニティセンターの充実（出会いの場、地域の特産品でつくった料理を出す）・市全体のイベント（市内一周スタンプラリー）・PRの充実・海外に移住した市民との交流、小学校の国際交流・HP、SNS 

現状把握（問題抽出）	取り組むべきこと・事業のたね（アイデア）
------------	----------------------

観光・広報

・観光資源のPR不足をI
♥OGIや広報で補っている
・宿泊施設などが少なく、
集客が見込める場所も限ら
れている

・市全体でのイベント（子どもクラブで観光イベント、小城といえ
ば、コレ！というイメージをつくる）・マスメディアの活用（ソ
フトバンクホークス、サガン鳥栖との
コラボ）・県外へのアピール強化・ス
マートホン普及事業・小城市アプリ開
発事業・広報編集御意見番設置事業・
情報交流の場を増やす・PR動画の作
成、配信事業



安全・安心

・青パトなどの地域力で治
安は良いが、地域によっ
ては歩道や外灯が少なく、危
険性が高い・排水機場が多
く、消防団の活動も活発に
なっているが、想定外
の気象状況により水害の危
険性がある

・自主防災への取組（防災マップ作成、地域リーダーの育成）・水
害対策・交通安全（歩道整備）・防犯対策（防犯灯の設置、見守り
活動）・連絡網の作成・防災士の養成
・防災体験講習会・防災への専門職の
活用・人材登録制度・国立（県立）防
災センター建設・地域防犯体制勉強会
・地域のつながりUP事業・地域活性
促進補助事業・子どもの安全、安心啓
発事業・危険空き家除去補助・危険空
き家撤去事業・LED防犯灯設置補助



・市民アンケートの実施実績

実施月	アンケート種別	回収数 配布数	回収率
H26年7月	市民アンケート	601人 2,000人	30.1%
H26年8月	小学生アンケート	453人	-
	中学生アンケート	470人	-
H27年7月	市民アンケート	699人 2,000人	34.5%
H28年3月	市民アンケート	852人 2,000人	42.6%

・市民会議の開催実績

第1回	H26.9.17
第2回	H26.10.15
第3回	H26.11.17
第4回	H26.12.17
第5回	H27.8.19
第6回	H27.9.9
第7回	H27.10.14
第8回	H27.11.11

次ページ 目指す将来像『誇郷幸輝』の解説

ふるさと（故郷）の文字に「誇り」を当て、光り輝く（光輝）の文字に「幸せ」を当てました。

まちづくり市民会議における「9年後の小城市を漢字1文字で表してください」という問いで、意見の多かった「幸」、「輝」を活かしつつ、市民みんなが「ここがふるさと！」と誇れる小城市でありたいという審議会の考え方を加味したものになっています。

この「誇郷幸輝」というビジョンには、これから9年の（さらにはその先の未来における）小城市が「みんなの幸せな笑顔が輝く、誇らしいふるさと」であってほしいという市民会議と審議会の - ひいては市民全体の想いと願いが込められています。



目指す将来像

誇 郷 幸 輝

～ みんなの笑顔が輝き 幸せを感じる ふるさと小城市 ～

